

山際塾長のこだわり教育論 5

子どもの可能性を信じましょう

私たちは未来に明るい希望を持つべきです。

いま日本と世界では、さまざまな問題が鬱積し、地球の未来を心配する議論も活発ですが、しかし、いろいろな困難や障害はあっても、総じて社会は確実に発展し進歩し、人類は諸々の問題を乗り越え前進して行くであろうと思います。

こういう激動の時代では、ますます優れた人材がより多く求められ、活躍のチャンスもますます増えていくにちがいないでしょう。

明るい希望に満ちた未来を築くのは、今の子どもたち、若者たちです。

明日を担う子どもたちのこれからの頑張り、大いに期待して、温かく見守り、できる限りの手助けをしていくのが、私たちの務めだと思います。

自分を信じること、自分の未来を信じること

子どもにとって大切なことは自分を信じること、自分の未来を信じることではないでしょうか。そのためには保護者の方自身が本気で子どもの無限の可能性を信じなければなりません。

子どもにやる気を起こさせるためには、ほめることが大切ですが、同時に、**将来への夢や希望**を持たせることも非常に重要です。

はっきりと言葉にできる夢がなくても、ばくぜん**「自分の未来はずばらしいんだ、とてもすてきなことがあるんだ」**という心を持たなくては、今、一生懸命がんばろう、という気にはなりにくいからです。

人生を前向きに生きる親の姿が大切です

子どもにとってのいちばん身近な社会人はお父さん・お母さんです。

そのお父さんお母さんが、毎日を生き生きと明るく楽しく元気に生きている姿を、子どもは知らず知らずのうちにお手本にして、育っていきます。

ところが、お父さんお母さんが生活に疲れていたり、仕事に後ろ向きだったり、マイ

ナス思考だったりでは、子どもは人生に希望を持ってなくなってしまいます。

以前に、あるお母さまで、「親はこんなに辛い仕事で毎日を頑張っているのだから」ということを子どもに教えることで、子どもの自覚を促し奮起させ、やる気を出させようと、考えた方がおられました。

子どもには「お父さんとお母さんは毎日苦しさがまんして耐えている。だからあなたも頑張りなさい。」と、ことあるごとに教えようとされました。

「社会で働くのは苦しく辛いことだけど、お父さんはこんなに頑張っている。」ということを理解すれば、きっと子どもは、親を思いやって、やる気をだしてくれるはずだ、というお考えだったようです。

ところが、その子どもはお母さんの気持ちとは裏腹に、ますます大人になる希望をなくし、自分の進路や職業を積極的には選択しようとしなくなりました。勉強をがんばる意味も見つけ出せなくなってしまい、どんどん無気力になっていきました。大人になって社会に出ることは、非常な苦しみばかりで、希望が持てない、と言う気持ちばかりが大きくなってしまったのですね。

人生が喜びであることを子どもに伝える

「しんどいこともあるけど、人生は楽しいよ」と、保護者の方が毎日を明るく笑って生きている姿を子どもに見せ続けることが大切だと思います。

そして「自分の未来には、いいことがいっぱいあるんだ、だから今を頑張るんだ。今の続きに未来があるんだから」ということをいちばん身近な社会人である保護者が、日常生活の中で子どもに示し、植え付けていくことです。そうして子どもは生きる力と頑張る力を身につけていくのです。

子どもの未来に希望と楽しみを持ちましょう

未来に豊かな希望や目標を持って、生き生きと頑張っている子どもたちは数多くいます。

「明日はなにをしよう」「明日が来るのが楽しみ」のくり返しが未来につながっていくのです。

未来に生きる子どもには、無限の可能性が 있습니다。

子どもたちが創る未来は、きっとすばらしい幸せな世の中です。

私たちは、子どものために、いまを我慢強く、勤勉に頑張る力を育てて行かなくてはならないと思います。